

中国株ウィークリーレポート

2018/12/10

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	24,388.95	-558.72	-2.24	-4.50	-1.34	24,719.22
NASDAQ	6,969.25	-219.01	-3.05	-4.93	0.95	6,903.39
日経225	21,678.68	177.06	0.82	-3.01	-4.77	22,764.94
上海総合	2,605.89	0.71	0.03	0.68	-21.20	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,181.56	-0.11	-0.00	0.28	-21.07	4,030.86
ハンセン	26,063.76	-92.62	-0.35	-1.67	-12.89	29,919.15
中国企業	10,369.40	-111.32	-1.06	-2.38	-11.44	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.7%安と反落、上海総合指数は0.7%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.7%安と反落した。米中貿易戦争の「休戦」合意を受けて週初に27000ポイント台を回復してスタートしたものの、米株急落をきっかけに週後半に崩れる展開。6日には米政府の要請でカナダ当局が華為技術の副会長を逮捕したことが伝わり、米中貿易摩擦に対する懸念が再燃した。本土市場では上海総合指数が週間で0.7%高と続伸。華為技術の副会長逮捕を受けて先行き不透明感が強まったが、上海総合指数は終値でかろうじて2600ポイント台を維持した。

今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、「華為ショック」で市場心理が悪化

香港市場は弱含みの展開が予想される。華為技術の副会長が逮捕された「華為ショック」を受けて米中首脳会談後に改善していた市場心理が再び悪化。世界で中国製通信機器の締め出し圧力も強まる中、11日に英議会上院でEU離脱協定案の採決、14日には中国の主要経済指標の発表と重要イベントも控える。先行き不透明感が高まっており、今週はリスク回避の動きが強まる公算が大きい。本土市場も「華為ショック」で先行き不透明感が強まる中、一進一退を繰り返しながらも総じて弱含みの展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 Link REIT (00823)	79.35	6.51
2 申洲国際集団 (02313)	98.75	3.95
3 九龍倉置業地産 (01997)	48.75	3.61
4 サズ・チャイナ (01928)	35.00	3.40
5 万洲国際 (00288)	5.89	3.15
6 中国中信 (00267)	12.92	2.87
7 中電控股 (00002)	88.70	2.84
8 信和置業 (00083)	13.72	1.93
9 新世界發展 (00017)	10.70	1.71
10 新鴻基地産 (00016)	113.20	1.52

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬 (01177)	5.38	-24.65
2 石薬集団 (01093)	13.22	-16.54
3 舜宇光学科技 (02382)	67.30	-11.10
4 瑞声科技 (02018)	50.75	-8.48
5 吉利汽車 (00175)	14.32	-7.13
6 太古A (00019)	81.95	-5.26
7 HSBC (00005)	63.70	-4.78
8 長江和記実業 (00001)	78.50	-4.03
9 碧桂园 (02007)	9.24	-3.95
10 CNOOC (00883)	12.78	-3.91

▼今週の主なイベント

- 12月14日(金)
- 【中国】小売売上高、鉱工業生産(11月)、固定資産投資(1-11月)
- 12月15日(土)
- 【中国】70都市不動産価格(11月)

▼今週の期待材料

- ◆OPEC 加盟国と非加盟の主要産油国が日量120万バレルの大幅減産で合意、原油価格上昇で関連銘柄に恩恵
- ◆7日発表の米雇用統計で非農業部門の雇用者数が市場予想下回る、利上げペース鈍化で金利先高観後退へ
- ◆11月末時点の中国の外貨準備高が市場予想を上回る3兆616億米ドルに拡大、4カ月ぶりに前月比で増加

▼今週の懸念材料

- ◆米政府の要請を受けたカナダ当局が華為技術副会長を逮捕、世界で中国製通信機器の締め出し圧力も強まる
- ◆中国の対米貿易黒字が前年同月比28%増の355億米ドルと過去最高を更新、対中圧力が強まる可能性も
- ◆11日に英議会上院でEU離脱協定案を採決、否決されれば「合意なき離脱」で混乱深まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・ユニコム (00762) : 中国当局が親会社に5G試験周波数帯を割り当て
- ☆ 中国鉄塔 (00788) : 10日付で中国企業指数の構成銘柄に正式採用
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 中国当局が親会社に5G試験周波数帯を割り当て
- ☆ 安踏体育用品 (02020) : テンセントと共同でフィンランドのスポーツ用品大手を買収
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 11月の新車販売台数が13%増加、1-11月は8%増
- ☆ 舜宇光学科技 (02382) : 11月の携帯端末用レンズセットの出荷数が59%増加
- ★ 越秀地産 (00123) : 11月の不動産販売額が35%減少、販売面積は28%減
- ★ 龍源電力 (00916) : 11月の電力販売量が10%減少、風力発電の落ち込みが響く
- ★ 中国生物製薬 (01177) : 医薬品の新調達制度で販売価格下落、収益悪化懸念強まる
- ★ 中国銀河証券 (06881) : 10日付で中国企業指数の構成銘柄から正式に除外

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。